

株式会社クレハ  
第108回  
定時株主総会

2021年6月25日



**新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた  
方々に深く哀悼の意を表しますとともに、  
現在も体調を崩されている皆様に、  
心よりお見舞い申しあげます。**

**また医療関係者の皆様やさまざまな場所で社会を  
支えてくださっている方々に、  
心より敬意と感謝の意を表します。**

**株主の皆様ごの安心・安全を優先し、  
できるだけ時間を短縮して議事を進行いたします。**

**株主数、議決権数の報告は割愛いたしますが、  
すべての議案の審議に必要な定足数を充たしている  
ことを報告いたします。**

**監査報告は招集ご通知に記載の通りです。**

＞ 招集ご通知 48頁～53頁

**1. 報告事項の報告**

**2. 報告事項に関する質疑応答**

**3. 決議事項の審議**

# 報告事項の報告

1. 第108期事業報告および  
連結計算書類報告の件
2. 第108期計算書類報告の件

> 招集ご通知 5頁～47頁

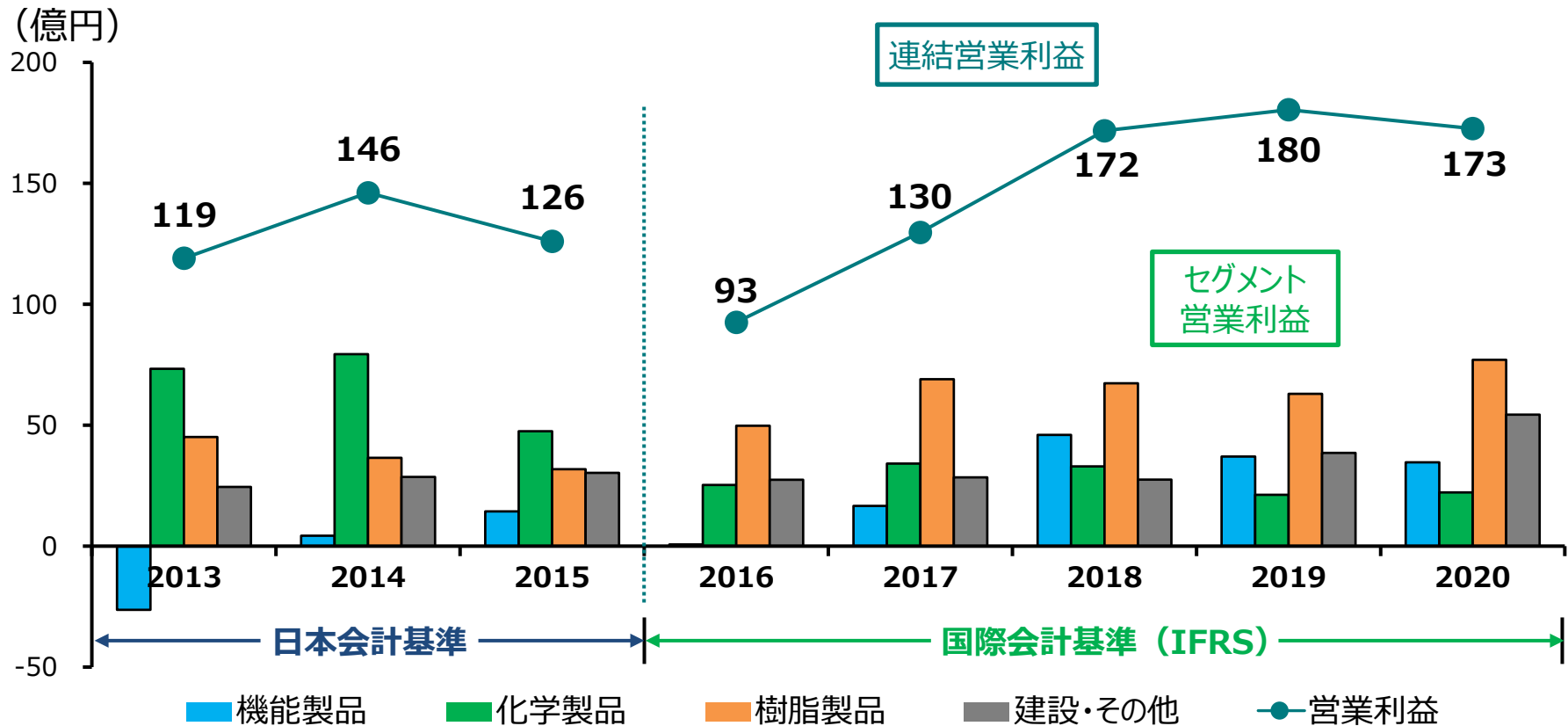
> 当社ウェブサイトに掲載

# 対処すべき課題

> 招集ご通知 10頁～11頁



# 連結営業利益推移 (2013～2020年度)



# 中期計画「Kureha's Challenge 2022」

2021、  
22年度の  
位置付け

- ▶ 「やり抜く」姿勢（企業風土）の定着 = 前中計での未達成課題の完遂
- ▶ 中長期視点に立った当社グループ将来像を描き、持続的な成長を果たすための具体的目標とアクションプランを設定
- ▶ 中期計画「Kureha's Challenge 2022」（中計ストレッチFinal stage）を策定・推進

## クレハを巡る 環境・社会のトレンド

気候変動の加速化／資源循環型社会への移行  
カーボンニュートラル／海洋プラスチック  
世界人口の増加と高齢化／食糧不足・水資源  
生活水準向上と高度医療化／ライフスタイルの変貌  
グローバル化・ダイバーシティ／デジタル化・ソーシャル化  
地政学的対立の拡大（貿易戦争）

## ● 「Kureha's Challenge 2022」 （中計ストレッチ Final stage）

- ・前中計での未達成課題の完遂
- ・将来に向けたアクションプランづくり

- クレハの「ありたい姿」  
スペシャリティ・ケミカル分野において  
差別化した製品を開発し、  
社会に貢献し続ける高付加価値型企業

### 「価値提供領域」

- ・モビリティ軽量化、高性能化、低炭素化
- ・環境負荷低減に寄与する素材提供
- ・カーボンニュートラル ・ゼロエミッション
- ・持続可能な食糧生産 ・フードロス低減
- ・ケミカルリサイクル推進

環境

エネルギー

ライフ

# 「中計ストレッチ Final stage」

## 2021年度 定量目標

(単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 計画	前期比	
			金額	%
売上収益	1,446	1,500	+54	3.8%
営業利益	173	150	△23	-15.1%
税引前利益	177	150	△27	-13.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	135	107	△28	-15.5%

注：定量目標はコロナ禍が内外経済に及ぼす影響が不透明なため、単年度ごとに策定しています。

### 売上収益

増収 機能製品 +85

減収 その他関連△18、建設関連△14

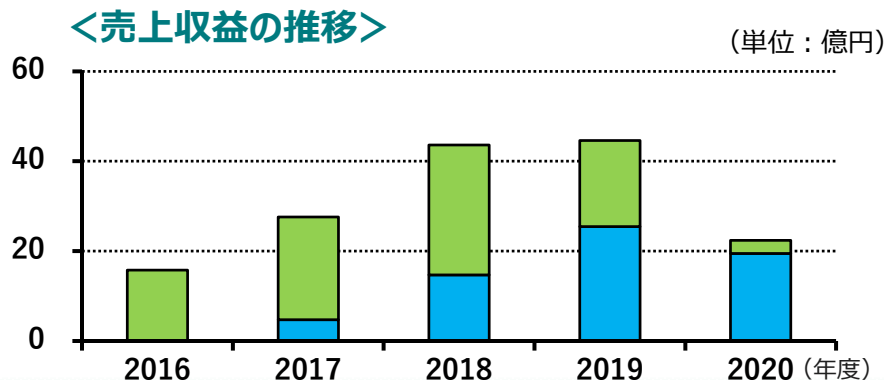
### 営業利益

- その他関連事業の一過性の売上収益の減少
- 原燃料価格の上昇
- 研究開発費他の経費の増加
- 定年延長による退職給付債務の増加

以上の要因により営業利益は減益が見込まれています。

## PGA事業の基盤固め

- ▶ 2020年度はコロナ禍の影響による原油価格下落により米国フラックプラグ市場は半減
- ▶ 下期より、柔軟な価格対応により大口顧客でもフルボア採用が広がり、販売は回復しつつあるものの、前期は30億円の営業損失。また事業環境変化を踏まえ16億円の減損損失を計上。
- ▶ 今後は、高・中温鉱区で価格戦略とデザイン改良によるフルボア採用によりシェアを拡大し、超低温鉱区向けの改良型PGAプラグの開発・販売に注力し、2023年度の黒字化を目指す。  
※フルボア採用：シェールの井戸全体でPGAプラグが使用されること。



- PGA素形材 (代理店、左軸)
- 自社製PGAプラグ (米国子会社、左軸)

PGA素形材



自社製PGAプラグ

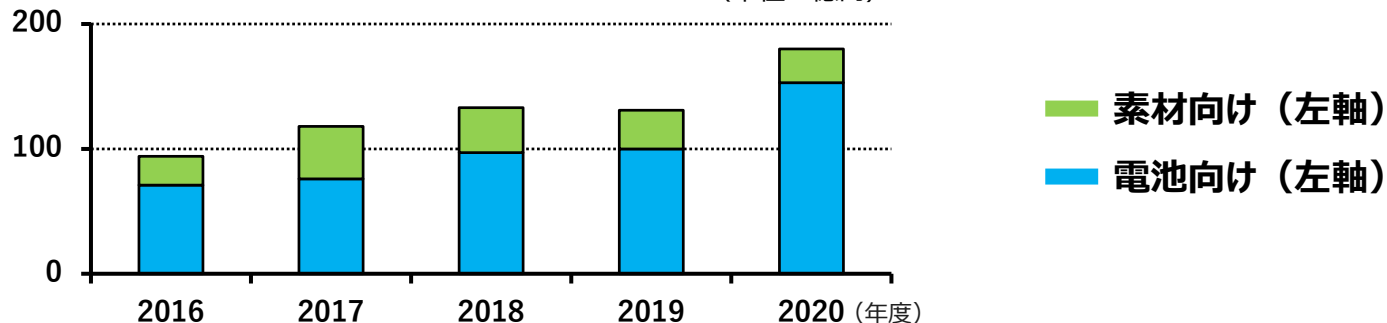


## フッ化ビニリデン樹脂事業の拡大

- ▶ 韓国・中国の大手電池メーカー向けを中心に、車載リチウムイオン電池正極材用バインダーのシェアは約40%。
- ▶ 2021年初より原料価格が高騰しており、価格転嫁により収益の維持・拡大を図る。
- ▶ いわき事業所では生産性改善工事に着工済み、2022年1月完工（予定）。
- ▶ コロナ禍により検討に時間を要しているが、新工場建設を21年度上期に決定し、2024年度に商業生産を開始予定。

### ＜売上収益の推移＞

(単位：億円)



**クレハグループの存続・繁栄と将来の“ありたい姿”に向けて  
中期計画「Kureha's Challenge 2022」  
(中計ストレッチFinal stage)  
で掲げた重点施策を「やり抜く」姿勢で完遂します。**

**パッション  
(情熱)**

**スピード**

**コミットメント  
(約束)**

# 報告事項に関する質疑応答

# 第1号議案

## 取締役5名選任の件

> 招集ご通知 54頁～60頁



## ➤ 候補者

小林 豊 再任

戸坂 修 再任 社外 独立

佐藤 通浩 再任

樋口 一成 再任 社外 独立

野田 義夫 再任

## 第2号議案

# 取締役に対する賞与支給の件

> 招集ご通知 61頁



→ 支給対象者

社外取締役を除く  
当期末の取締役 3名

→ 総額

70,000千円

**本株主総会の運営にご協力をいただき、  
誠にありがとうございました。  
会社を代表いたしまして、厚く御礼申しあげますとともに、  
今後とも何卒、ご支援を賜りますよう、  
宜しくお願い申しあげます。**

**株式会社クレハ**  
代表取締役社長 小林 豊